

当院を受診された患者さんとそのご家族および代理人の方へ

当院では下記の研究を実施しております。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で、情報等を研究目的に利用されることを希望されない場合は、連絡期間内に、下記の問い合わせ先にご連絡ください。

受付番号	20220006
研究課題名	急性期合併症入院中のVA（バスキュラーアクセス）モニタリングの重要性
当院研究責任者	済生会横浜市東部病院 臨床工学部 本間 成亮
連絡期間	情報等を研究目的に利用されることを希望されない場合は、2022年6月30日までに下記の問い合わせ先にご連絡ください。
研究の目的と意義	維持施設において、シャント音や触知、脱血状況などを点数化する「シャントトラブルスコアリングシート」を活用して透析実施時の脱返血部（バスキュラーアクセス）の評価を行うことは多いが、当院のように透析以外を主目的とした合併症入院中に評価を行う施設は少ない。そこで、本研究では、シャント治療以外の合併症入院中の患者に定期的なバスキュラーアクセスの性能評価を行うことは有用であるかを明らかにすることを目的とする。
研究の方法	バスキュラーアクセストラブル以外の合併症にて入院した患者を対象とし、当院にて作成したシャントトラブルスコアリングシートを用いて、入院時から1週間ごとに、血液透析治療前・中・後のバスキュラーアクセス評価とその結果に基づいた治療必要度を検証する。
対象者	2021年10月1日～2021年12月31日の間に、当院透析室にて透析治療を実施された方
利用する試料/情報	試料：シャントトラブルスコアリングシートの評価点数 情報等：入院期間、入院理由、透析条件
研究組織	当院単独研究
試料/情報の院外提供	該当なし
研究資金源	研究者の私費
結果公表	第67回日本透析医学会学術集会・総会および第26回日本透析アクセス医学会学術集会・総会にて発表
研究終了後の試料/情報の取り扱い	研究終了報告日から5年または最終の研究結果報告日から3年のいずれか遅い日まで保管し、匿名加工情報として廃棄します。
問い合わせ先	〒230-8765 横浜市鶴見区下末吉 3-6-1 電話 045-576-3000（代） 済生会横浜市東部病院 臨床工学部 本間 成亮